

Ota City Comprehensive Plan

第2次
太田市総合計画
2017▶2024
【概要版】



「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」 を目指して

私たちのまち「太田市」は、平成17年3月28日の1市3町による合併から、今年で13年目を迎えます。その間、新市として初めての総合計画となる「新生太田総合計画」に掲げた将来都市像「人と自然にやさしい、笑顔で暮らせるまち太田」を目指し、北関東随一の工業都市として、着実に発展を遂げてまいりました。

しかし、「新生太田総合計画」策定から10年が経過した現在、各自治体を取り巻く環境は大きく変動しています。経済活動のグローバル化や地球環境問題の深刻化など地域を超えた課題をはじめ、人口減少・超高齢化社会の到来といった社会構造的な課題、度重なる自然災害や高度経済成長期に整備したインフラの老朽化対策など、様々な課題に的確に対応し、将来にわたって都市の活力を維持していかなければなりません。

「第2次太田市総合計画」では、このような時代にあっても、本市のこれまでの取り組みの成果を活かし、諸課題に対応したまちづくりを進めていくため、「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」の実現に取り組むこととしています。

今後は、限られた経営資源を最大限に有効活用するとともに、市民の皆様との連携と協働により、本計画を着実に推進し、次世代に誇れる太田市となるよう各種事業に取り組んでまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたって、たくさんの貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様、熱心にご審議いただきました総合計画審議会委員の皆様に関心から感謝申し上げます。

■ 総合計画とは

総合計画は、市が目指すまちづくりの将来像と、その将来像を実現するための各行政分野における施策を明らかにするもので、市の最上位の計画として長期的な市政運営の指針となるものです。

総合計画は、目指すべき都市像を示す「基本構想」、そのために必要な各施策分野を体系的に示す「基本計画」、各分野の施策を具体的に実現していくための「実施計画」の3層で構成されます。

計画策定の趣旨

本市では、まちづくりの基本方向を示す計画として総合計画を策定し、計画的にまちづくりを進めてきました。

現行の「新生太田総合計画」は、平成 17 年 3 月 28 日をもって太田市、尾島町、新田町及び藪塚本町が合併して新太田市が設置されたことに伴い、太田市における総合的かつ計画的な行政運営を図るために策定されました。平成 19 年度を初年度とし、平成 28 年度を目標年度として「人と自然にやさしい、笑顔で暮らせるまち太田」を将来の都市像に掲げ、その実現に向けてまちづくりを進めていますが、計画策定から 9 年が経過し、少子高齢化や人口減少のさらなる進行、経済成長の鈍化、市民参加型社会への移行など、本市を取り巻く状況も大きく変化しています。

第 2 次太田市総合計画は、こうした課題に的確に対応し、これからの時代にふさわしい魅力あるまちづくりを進めていくため、新生太田総合計画での取り組みの成果をふまえ、市民と行政のまちづくりの新たな指針として策定するものです。

構成と期間

基本構想

(平成29～36年度)

市政運営の根幹となるもので、将来像やまちづくりの基本的理念、方針などを定めます。

行動計画

前期4年間（平成29～32年度）
後期4年間（平成33～36年度）

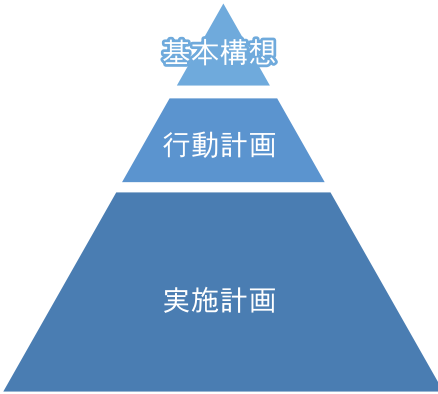
基本構想に掲げる将来像の実現に向けた施策の内容を示します。

実施計画

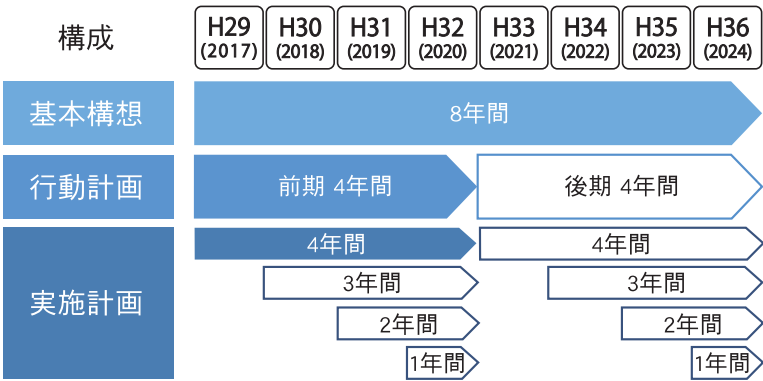
行動計画の4年間を単位期間とし、毎年度ローリングを行う。

行動計画で定めた施策を実現する事業を示します。社会・経済・市民ニーズの変化などを考慮して毎年度見直します。

総合計画の構成イメージ



第 2 次太田市総合計画の計画期間イメージ



■ 将来都市像 「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

人にやさしく

安心して子どもを育てることができ、高齢者はもとより全ての市民がお互いを思いやり、いきいきと健康に暮らせるまちづくりを目指します。

自然にやさしく

金山に代表される本市の豊かな自然を次世代に伝えることができるよう、循環型社会の構築や豊かな自然と美しい生活空間を大切にするまちづくりを目指します。

品格のあるまち

まちの個性である歴史や伝統、文化を大切に守り、磨き、まちの品格を高めるとともに、市民が愛着と誇りを持てるまちづくりを目指します。

■ まちづくりの基本理念

将来都市像の実現に向けて、次の6つの基本理念を定めます。

教育文化の向上

子どもたちに確かな学力と豊かな心を育む教育を行い、誰もが自主的に学び交流し文化が育まれるまちをつくります。

産業経済の振興

活力ある産業や、多くの働く場を育むとともに、商店街の活性化や観光資源を生かしたにぎわいに満ちたまちをつくります。

福祉健康の増進

すべての市民が健やかに生活することができ、安心して子どもを産み育てられるまちをつくります。

都市基盤の整備

住環境や道路整備などの都市基盤の充実により、誰もが快適に暮らせるまちをつくります。

生活環境の整備

循環型のまちづくりを推進するとともに、防災対策や消防体制、交通安全対策などが充実したまちをつくります。

健全な行政運営の推進

市民と行政が協働して効率的・効果的な行財政改革の推進により、健全な行政運営を持続できるまちをつくります。

第2次太田市総合計画

基本構想

将来都市像

「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」

基本理念

- | | |
|-------------|---------------|
| I 教育文化の向上 | IV 産業経済の振興 |
| II 福祉健康の増進 | V 都市基盤の整備 |
| III 生活環境の整備 | VI 健全な行政運営の推進 |

基本目標

- ① 教育が充実し青少年が健やかに育つまちづくり
- ② 生涯にわたってスポーツに親しみ楽しめるまちづくり
- ③ 豊かな心と文化を育むまちづくり
- ④ みんなで支える福祉のまちづくり
- ⑤ 安心して子育てができるまちづくり
- ⑥ 健康で元気に暮らせるまちづくり
- ⑦ 災害に強いまちづくり
- ⑧ 日常生活の安全を向上させるまちづくり
- ⑨ 良好な環境を保全し向上させるまちづくり
- ⑩ 活力ある産業とにぎわいのあるまちづくり
- ⑪ 安全で便利な道路や交通機関のあるまちづくり
- ⑫ 良好な都市空間と住空間を創出するまちづくり
- ⑬ 市民が主体のまちづくり
- ⑭ 市民が個性と能力を発揮できるまちづくり
- ⑮ 効率的で健全な行財政運営を目指すまちづくり

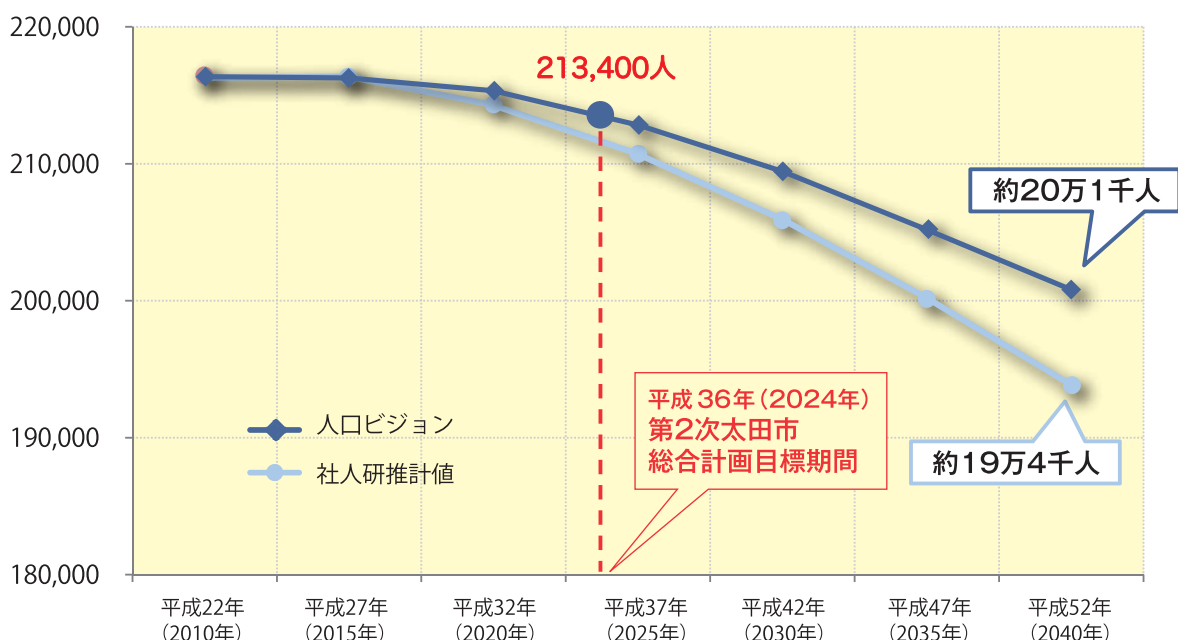
行動計画

分野別施策

基本目標	基本施策
教育が充実し青少年が 健やかに育つまちづくり	1 義務教育の推進 2 高校教育の充実 3 青少年の健全育成
生涯にわたってスポーツに 親しみ楽しめるまちづくり	4 スポーツの振興
豊かな心と 文化を育むまちづくり	5 生涯学習の推進 6 芸術文化の推進 7 文化財の保護活用
みんなで支える 福祉のまちづくり	8 介護・高齢者福祉の推進 9 障がい者福祉の推進 10 地域福祉の推進
安心して子育てができる まちづくり	11 子ども・子育て支援の充実
健康で元気に暮らせる まちづくり	12 健康の増進 13 医療・保険制度の充実
災害に強いまちづくり	14 防災対策の推進 15 消防・救急体制の充実強化 16 安全な居住環境の推進
日常生活の安全を 向上させるまちづくり	17 防犯体制の強化 18 消費生活の安定 19 交通安全対策の推進
良好な環境を保全し 向上させるまちづくり	20 環境政策の推進 21 生活環境の保全 22 廃棄物の適正処理
活力ある産業と にぎわいのあるまちづくり	23 工業基盤の整備と産業支援 24 商業基盤の整備とにぎわいの創出 25 農業生産基盤の整備と農業経営基盤の強化 26 観光事業の推進と交流人口の増加
安全で便利な道路や 交通機関のあるまちづくり	27 道路網の整備 28 交通体系の整備
良好な都市空間と 住空間を創出するまちづくり	29 土地利用計画の策定・推進 30 景観の保全 31 公園・緑地の整備 32 市街地の整備 33 住環境の整備 34 雨水排水路・下水道の整備
市民が主体のまちづくり	35 地区住民活動の推進 36 広報広聴体制の充実
市民が個性と能力を 発揮できるまちづくり	37 国内外交流の推進 38 互いを認め合い人権を尊重する社会の実現
効率的で健全な 行財政運営を目指すまちづくり	39 効率的で健全な行政経営の推進

人口の将来展望

新生太田総合計画では平成 25 年（2013 年）を人口のピークと予測し、その数を 216,300 人としていましたが、平成 28 年 3 月 31 日時点での太田市人口は約 223,000 人となり、予測を上回る推移をしました。しかし、日本全体が少子高齢化などを背景とした人口減少社会へ転じていく中で、太田市においてもこれまでのような右肩上がりの人口増加は望めません。国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の市区町村別将来推計人口（平成 20 年 12 月推計）」を基に、本市の人口動向を分析し目指すべき将来の方向性を提示するため策定した「太田市人口ビジョン」では、目標年次である 2040 年に 20 万人を確保することを目標としています。そこで、本計画では、計画の最終年である平成 36 年（2024 年）での太田市人口ビジョンにおける本市の総人口 213,400 人を人口の将来展望とします。第 2 次太田市総合計画では、人口の減少抑制のための各種取り組みを織り込むとともに、今後の人口減少見込みを踏まえた総合的なまちづくりを推進するものとします。





人と自然にやさしく、品格のあるまち太田